



鳥取西高 図書館ジャーナル

鳥取西高等学校図書館

NO.1
2020.4



入学・進級おめでとう！

私たちが図書館を担当します！



田中 かなで

(司書教諭・国語科)

図書館は「自分の今いる世界の外側からことばを持ち込む」ことのできる場所です。それは「自分が出会わなかったであろう人と会うこと」と同義。ここでたくさんの疑似体験知を貯金し、認識の地平を刷新していきましょう。

清水 太郎

(企画部図書係主任・地歴公民科)

「書物の新しいページを1ページ、1ページ読むごとに、私はより豊かに、より強く、より高くなっていく。」ロシアの文豪チェーホフの言葉です。皆さんのこの1年が実り多きものとなるお手伝いができればと思います。

小林 みちる

(司書)

高校生活で様々な本との出会いが待っている皆さんへ、『答えは本の中に隠れている』(岩波ジュニア新書、2019年)をお薦めします。知りたいこと、読みたい本のことなど、なんでも気軽にお尋ねください。ご来館お待ちしております。

特別貸出実施中です

一人 **20冊** まで本を借りられます。返却期限は5月7日です。
ゴールデンウィークにゆっくり読書を楽しんでみませんか。



人文学の *Instant Classic*

英語 松田裕史先生 より



『中動態の世界』
國分功一郎／著(医学書院)

先日、新聞に大きく「紀伊國屋じんぶん大賞」の広告があるのを見つけた。今年の1位は『居るのはつらいよ——ケアとセラピーについての覚書』(東畑開人)。沖縄のデイケアが舞台であるが、教育現場でのケアとセラピーについて考えるにもうってつけの本だった。過去の受賞作を振り返ってみると、1位に限らず上位作はいまだに輝きを失っていないものが多く、Instant Classicと呼ぶに相応しい著作ばかりである。

『哲学の起源』(柄谷行人)、『独立国家のつくりかた』(坂口恭平)、『動きすぎではいけない—ジル・ドゥルーズと生成変化の哲学』(千葉雅也)、『弱いつながら』(東浩紀)、『断片的なものの社会学』(岸政彦)、國分功一郎『中動態の世界 意志と責任の考古学』、小松理虔『新復興論』等、枚挙に暇がない。中でも最もラディカルなのは柄谷行人であるが、80歳近くになってもなお世界レベルの批評を展開している姿にはただただ敬服するのみである。



発表！2020 年本屋大賞



『流浪の月』
風良ゆう／著
(東京創元社)

4月に2020年の「本屋大賞」が発表されました。

本屋大賞とは、全国の書店員さんがすすめたい本の1位を選ぶ文学賞です。

2020年の1位は 風良ゆうさん著『流浪の月』です。

昨年までのランクイン作品もあわせて図書館で展示中です。ぜひ読みに来てください。



図書館での展示のようす

本を探そう！ 図書館・教室パソコンで「本の検索」ができます

- ①図書館の検索用PC (またはノートパソコン)、
や教室PCに**ログイン**
- ②デスクトップ画面の「**蔵書検索**」アイコンをクリックする。
- ③「フリーワード」「書名」などを
入力して、「検索」をクリック
- ④一覧の中に求める本が見つかったら、
「配架場所」(＝ジャンルごとに置かれた場所)
「請求記号」(＝分類番号。本の背ラベルに対応)
をもとに、図書館を探してみよう！



パソコンへのログイン (共通)
ユーザ名 : class
パスワード : なし



サトヤマシホシユギ
里山資本主義：日本経済は「安心の原理」で動く
角川Oneテーマ21 C-249
モタニ、コウスケ
藻谷浩介 // (著) NHK広島取材班 // (著)
ISBN 4041105129
角川書店 東京 2013.7

登録番号	040980000
請求記号	332-モ-
所蔵館	鳥取西高等学校
配架場所	社会

新着図書ピックアップ！



『巴里マカロンの謎』
米澤穂信／著 (東京創元社)
高校生ふたりが日常のちいさな謎を解く「小市民シリーズ」、11年ぶりの新刊です。忘れてしまった人は、1巻から読み返してみるのもアリ！



『身近でできるSDGs エシカル消費』1～3
三輪 昭子／著 (さ・え・ら書房)
社会問題の解決を考えた新しい消費のカタチ、「エシカル消費」について、言葉の意味から取り組みの紹介までわかるシリーズ。

そのほかにも、新しい本がたくさん入っています。新着図書の一覧は、鳥取西高公式ホームページの図書館のページから見られます。

URL = https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/toriw-h/index.php?page_id=43

